

事業名 京都丹後産にんにくの地域ブランド商品製造販売事業

連携体
 中小企業者 (有)創造工房、(株)成和(以上、食料品製造業)
 農林漁業者 井上満博、梅本農場、岸本忠雄(以上、農業)
 連携参加者 野村牧場(農業)

サポート機関等 京丹後市商工会、地域活性化支援事務局

事業概要(連携の経緯、商品等の新規性・市場性・競争力)

◆連携の経緯

(有)創造工房は地域の遊休農地活用や新しい地場産品の開発を検討する中で(株)成和の黒にんにく生産技術に出会い、丹後でのにんにく・黒にんにく生産を決意した。(株)成和との連携に、以前より交流のあった専業農家(岸本忠雄、梅本修、井上満博)や牧畜業(野村牧場)を組み合わせ(株)成和へ特別栽培にんにくの提供を行い、さらに丹後での原料生産から加工まで一貫した黒にんにく生産と、高度な品質の確保や新製品開発を行う。



にんにく畑

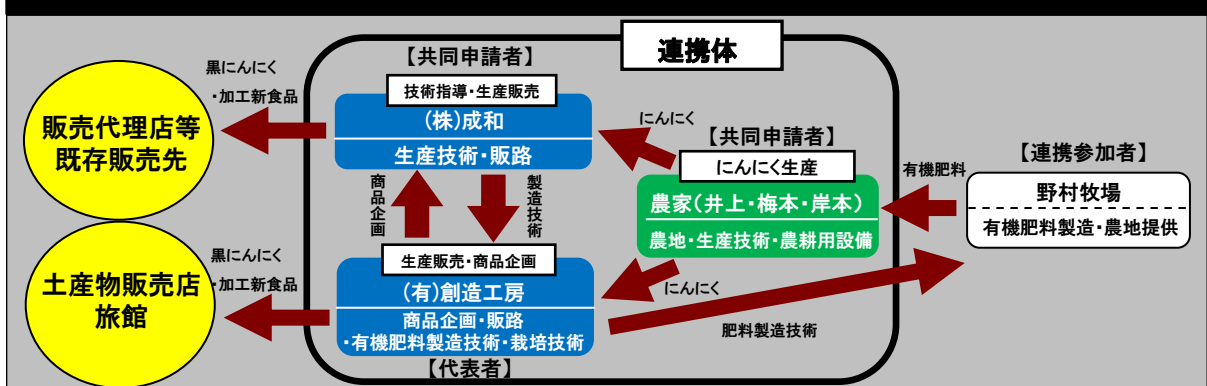
◆新商品又は新役務の内容とその市場性・競争力

岸本、梅本、井上の生産する京都丹後産にんにくは有機肥料や酵素を用い、農薬も極力使用しない特別栽培であり、味が良く、栄養価も高い。また、黒にんにくにはほとんどにおわず、乾燥プルーンのように甘く、生より抗酸化物質が数十倍に増加するなどの特性を持ち、認知度が上昇しつつある。ここで黒にんにくに用いて栽培された京都丹後産にんにくを原料とすることで、トレーサビリティ、品質、京都丹後の地場産品として競争力を持つ。また他の地場産品等と組み合わせた黒にんにく加工食品の地域ブランド商品群を作り、京都丹後の観光交流人口をターゲットとして、健康・安心・安全や長寿をキーコンセプトに市場開拓を行う。



黒にんにくとパウダー

連携体の構成と活用する経営資源



期待される地域経済への効果等

- ◆新商品の売上高:約1.5億円(平成25年度)
- ◆農作業・黒にんにく製造に関わる雇用創出
- ◆遊休農地等の活用 約2ha(平成25年度)
- ◆京都丹後産にんにくの地域ブランド商品

代表企業等の連絡先

- ◆代表者(所在地): 有限会社創造工房 (京都府京丹後市網野町浅茂川1808)
- ◆電話番号:0772-79-2020
- ◆FAX番号:0772-79-2021
- ◆E-mail: hayakawa@ecotango.co.jp
- ◆ホームページ: http://www.ecotango.co.jp